

人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び

はむらの教育



8月にプリモライブラリーはむらで、YA ボランティアの中学生とインターンシップで受け入れている大学生の皆さんが「YA コーナー」のポップづくりに取り組むなど、図書館の仕事を手伝ってくれました。

YA 世代に、より図書館に興味をもってもらい、たくさんの本を読んでもいただくことがねらいです。

* 「YA」とはヤングアダルトの略で、主に13～19歳の世代のことを指す言葉です。YA コーナーには学生生活や進路の選択に役立つ本や、10代の皆さんにおすすめる文学やさまざまな分野の入門書をたくさん用意しています。



◀市公式サイトにも掲載しております

1人1台端末を活用した学習活動を紹介します!!

1人1台端末を活用した学習がスタートしてから1年半がたちました。市内の小・中学校ではさまざまな教科などで、端末を活用した学習を進めています。

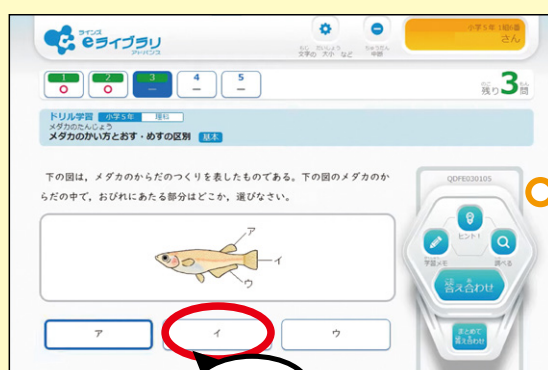
今回は、1人1台端末を活用した学習活動の一部を紹介いたします。

〈学習支援ドリルを使った学習〉

1人1台端末のさらなる活用に向け、「学習支援ドリル」を導入しました。

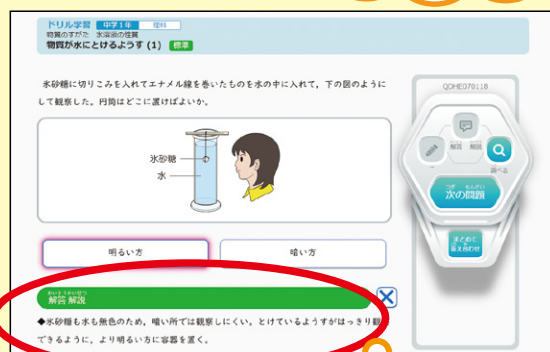
この学習支援ドリルは、小学校1年生から中学校3年生までの教科を自由に学習できるオンライン学習支援ソフトです。主に家庭学習でこの学習支援ドリルを使用し、学習を進めています。

学習支援ドリルをのぞいてみましょう



操作もかんたん、画面タッチで進めます。

学習の取組状況や正解率を視覚的に見ることができます。



つまづき部分を解答解説で確認できます。

項目	点差	正答率	時間 (分)
物に水にとけるようす	10 / 16	77%	13
物に水にとけるようす (モデルで考える)	14 / 16	71%	12
溶液の濃さ	13 / 16	83%	13
物に水にとける量	15 / 16	100%	12
物に水にとける量	12 / 16	70%	12

教員は、個人や各学級の学習状況を効率的に把握することができます。

「学習支援ドリル」では、「苦手をなくす」「得意をのばす」「チャレンジする」といった3つの視点で、児童・生徒の状況にあった学習を進めることができます。AI(人工知能)型ドリルとなっており、一人ひとりのこれまでの学習成果に応じて問題が出題されます。どの学年の教科でも選択でき、繰り返し学習できることもメリットです。

家庭での学習の際には、家庭のオンライン環境に接続して学習できるほか、事前に学校で学習する教科の項目をダウンロードすることで、オフラインでも利用することができます。持ち帰りの際には、紛失・破損に注意し、有意義に学習を進めてください。

「1人1台端末を使って、英語で羽村を紹介！」

羽村市では、特色ある教育の一環として、小学校1年生から外国語活動を行っています。
羽村西小学校の外国語科で実施した外国語指導助手（ALT）との交流会では、6年生の児童が端末を活用し、羽村を紹介しました。

児童は、事前に羽村市について調べ、写真などを盛り込んで発表用のスライドを作成しました。スライドの内容も発表も、もちろん英語で考えます。



当日は、いくつかのグループに分かれ、端末にスライドを表示しながら、英語で羽村の良いところ（おすすめのところ）などを紹介します。



「We have Hamura Zoo. You can see cute animals. (羽村市動物公園があり、かわいい動物に会えます!)」
「You can enjoy cherry blossoms. (桜を楽しめます!)」
「Please enjoy Hamura! (羽村を楽しんでください!)」

発表後は、発表内容の質疑応答を行ったり、自分自身の紹介（好きな食べ物や色など）をしたりして、積極的にコミュニケーションをとります。

「I love Cherry Blossoms, too!!!
(私も桜が大好きよ!)」



最後のまとめとして、ALTから
「Very good EYE CONTACT!! (アイコンタクトが素晴らしかったわ!)」
「I learned a lot about Hamura! (羽村についてよくわかりました!)」
などの話がありました。

今回の学習活動では、調べ学習や写真を用いたプレゼンテーション資料の作成のみならず、互いの発表からの気づきや伝えたいことを効果的に相手に伝える力の醸成など、端末のメリットを生かした学習を進めることができました。

今回紹介した内容は、1人1台端末を活用した学習活動の一部です。

1人1台端末は、教育活動の基盤的なツールであり、端末をどのように活用し、どのような学習活動を進めていくかが大切です。引き続き、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実に向け、効果的な活用を進めていきます。

【問合せ】

学校教育課指導係（内線376）

小学校の3学期制への移行について

これまで、羽村市立小学校では2学期制を採用してきましたが、令和5年4月から、3学期制へ移行します。

新しい学習指導要領の全面実施により学習評価の観点が変わったことに伴い、子どもが自らの学習を振り返ることで、学習の調整や意欲の向上につなげるため、今後はより短い間隔で、成果と課題の提示を行い、各個人が目標設定を行っていきます。ご理解をお願いします。



【問合せ】学校教育課指導係（内線376）

学校給食費の納入はお忘れなく ～児童・生徒の保護者の皆さんへ～

学校給食の食材料費は、保護者の皆さんに負担していただくことになっています。

給食費が未納になると、食材の購入にも影響があります。

給食費は、基本的に□座振替で納付していただきますが、残高不足などにより未納となってしまう場合もありますので、□座残高の確認をお願いします。

なお、未納の場合は学校から連絡がありますので、速やかにお支払いください。

給食費一覧

小学校	1・2年生…3,870円
	3・4年生…4,040円
	5・6年生…4,210円
中学校	全学年…4,750円

□座から引き落としの際は、別途手数料がかかります。



【問合せ】学校教育課学務係（内線358）

全国大会などに出場した青少年の 保護者を対象に補助金を交付します

市では、スポーツ・芸術文化の振興を目的に、市内に住所を有する青少年が全国大会などに出場した場合、その経費の一部を補助金として保護者に交付しています。

※青少年：満18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある方

対象となる大会

国、地方公共団体、公益財団法人またはその加盟団体などが主催する全国的な規模および水準の大会、国際大会

補助対象者

全国大会などに個人または団体で出場し、かつ、当該出場が次のいずれかに該当する青少年の保護者

○羽村市を含む地域を対象とする東京都大会、関東大会などの予選を経て出場したもの

○スポーツ大会の実施要項などで規定された標準記録などに到達して出場したもの
○競技団体などの推薦を受けて出場したもの

補助対象経費

青少年の大会出場に係る交通費および宿泊費（上限額があります）

※詳しくは、市公式サイトをご覧ください。お問い合わせください。



【問合せ】生涯学習推進課（ゆとろぎ内）

☎570-0707

プリモホール ゆとりぎから

チケット販売中!!

新倉壮朗の世界in羽村

「ようこそ、音の開放広場へ」

パワフルな即興音楽の魅力あふれるライブがやってくる!

感性豊かな新倉壮朗のパフォーマンスに、エネルギーあふれるアフリカンパーカッションとダンスを全身に浴びましょう。ゲストは、朝ドラ「あまちゃん」や大河ドラマ「いだてん」の音楽を手掛けた大友良英さんです。

日時: 11月19日(土)午後3時〜(午後2時開場)

会場: プリモホール ゆとりぎ大ホール

出演: 新倉壮朗(ミュージシャン)

ゲスト: 大友良英(ギタリスト、作曲家)、ワガン・ンジャイ・ローズ(サバール奏者)、ボガ・ンジャイ(サバール奏者)

定員: 648人(全席指定)

チケット: 大人1,500円、子ども(4〜18歳)500円、膝上鑑賞(3歳以下)は無料

※小学生以下保護者同伴

プレイガイド: 【窓口販売】プリモホール ゆとりぎスポーツセンター、西多摩新聞社チケットサービス



ゆとりぎオンラインチケット



ワガン・ンジャイ・ローズ



大友良英



ボガ・ンジャイ



新倉壮朗

「インターネット販売」ゆとりぎオンラインチケット

ご招待: 市内在住・在学の小中学生(小学生は保護者同伴)を招待します。ゆとりぎ窓口で、11月15日(火)までに申し込んでください。

第7回HAMURAMERIRIボン演劇祭を開催しました

令和4年7月16日(土)・17日(日)の2日間にわたり、第7回HAMURAMERIRIボン演劇祭を開催しました。

3年ぶりの有観客開催となった今回の公演には、2日間で計477人が来場し、盛況のうちに幕を閉じました。

出演団体は、過去最多の11団体(羽村第一中学校演劇部、朗読劇の会「ひびき」、都立青梅総合高校演劇同好会、都立羽村高校演劇部、劇団宙、演劇集団銀のすず2号、都立昭和高校演劇部、都立五日市高校演劇部、都立福生高校演劇部、英語で朗読・朗読劇PASTIME、劇団宙☆ポラリス(出演順)にのぼり、幅広い年代による個性豊かな演劇が繰り広げられました。

各出演団体は日頃の稽古の成果を発表するだけでなく、運営スタッフとして受付や来場者の案内、影アナなどを担い、団体の垣根を越えて一つになり、演劇祭を成功させることができました。

ぜひ、来年も応援をよろしく願います!



SNSで
情報発信を
しています

プリモホール ゆとりぎのイベント情報などを発信していきます。ぜひフォロー(閲覧登録)をお願いします。

なお、本【公式】アカウントは情報提供を目的としているため、原則リプライ(返信)などへの対応は行いませんのであらかじめご了承ください。



◀Twitter



◀Instagram

【問合せ】生涯学習推進課

(ゆとりぎ内)

☎570-0707

受験生の保護者の皆さんへ

「羽村市の入学資金融資制度を
活用しましょう」

高等学校や大学などの入学資金の融資を市内の金融機関にあつせんし、その融資に対する利子などを全額補助します。

入学資金の調達にお困りの方は、ぜひご相談ください。

次のすべてに該当する方です

●高等学校や大学などの入学資金の調達が困難である保護者

※高等学校、中高一貫校の後期課程、特別支援学校の高等部、大学（短期大学）、高等専門学校、専修学校の高等課程及び専門課程、サポート校など

●市内に引き続き1年以上居住していること

●保護者（父母など）の総所得が75万円以下であること

●すでに納期の到来した市税など（給食費を含む）を完納していること

●取扱金融機関が指定する保証機関の保証を受けられること

●入学資金に関して同種の融資（他の融資で入学時のみの融資を対象としたもの）を受けていないこと

融資資金の対象・限度額

●融資資金の対象は、入学手続と同時に学校に入金する入学金（料）と入学支度金です。入学金（料）は施設費を含みます。入学支度金は、学校が指定する制服（体育着などを含む）、教科書などの経費です。（※領収書の提出が必要です。）

●入学金（料）の限度額は100万円、入学支度金の限度額は20万円です。ただし、入学者が複数いる場合は、入学支度金に関しては20万円×人数となりますが、同一世帯に対する限度額は入学金も含め120万円です。



利子と保証機関の保証料の全額補助

利子は市が全額補助しますので無利子です。融資には保証機関の保証を受けていただきますが、その保証料についても、市が全額補助します。

【問合せ】生涯学習総務課総務係（内線354）

プリモライブラリーはむら

（図書館）から

★図書館メールマガジンをご利用ください

図書館では毎週金曜日に、ご登録いただいている方にメールマガジンを配信しています。メールマガジンには、図書館の新着資料情報、おはなし会や各種イベントの実施予定、その他お知らせを掲載しています。手軽に図書館の情報を知ることができるので、ぜひ登録してください。

登録は図書館ウェブサイトの「メールマガジンの登録はこちらから」をクリックしてください。



▲図書館ウェブサイト

★外部ブックポストをご利用ください

図書館に本を直接返すことができない時は外部ブックポストをご利用ください。

※CD、カセットテープ、ビデオテープ、DVD、東京都立図書館や他市からの借用資料、CD・CD-ROM・DVDなどが付属している本や雑誌、リクエストカードは、開館している時間に図書館に直接お返しください。

【外部ブックポストの設置場所】

- ・西多摩農協本店内：午前8時から午後9時（年末年始を除く）
 - ・東児童館：午前9時から午後4時（木曜日、年末年始を除く）
 - ・市役所庁舎1階ロビー：午前8時30分から午後5時15分（土日祝・年末年始を除く）
- ※返却本の回収は、水・金・土曜日の午前11時頃におこないます。

【問合せ】図書館 ☎554-2280

郷土博物館から

季節かざり「お月見かざり」を
展示します！

秋の風物詩といえば「お月見」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。郷土博物館では、令和4年9月3日(出)から9月11日(日)の期間に、館内と屋外展示の旧下田家住宅へお月見かざりを展示します。

現在「お月見」をする日として一般的なのは、旧暦の8月15日(十五夜)にあたる日で、令和4年は9月10日(出)です。この日の夜に見える月は特に美しいことから「中秋の名月」と呼ばれています。

お月見の風習は、奈良時代に中国から日本へ伝わりました。当初は貴族社会の中だけの行事で、月を觀賞しながら和歌を詠んだり、楽器の演奏をしたりする行事でした。鎌倉時代ごろになると、武家や庶民にもお月見の風習が広まり、お供え物をして月を觀賞するようになりました。



▲昨年度の季節かざり
「お月見かざり」の様子

お供え物は団子やススキ、イモ、枝豆、酒などが主なものですが、地域による違いも多いようです。例えば、羽村の旧下田家住宅では、萩や「十五夜草」という別名がある紫苑、カボチャ、サトイモ、サツマイモ、栗などをお供えしていました。また、ススキは「短く切ると、子どもが小さくなってしまう」と言って、長く刈り取ってきたものをそのまま飾っていたそうです。

さて、今年の十五夜は晴れるでしょうか。気象庁のウェブサイトでは、過去の気象データから割り出される「天気出現率」を見ることができ、これによると、9月10日の東京は、過去30年間で5割以上が晴れています。この日は夜空を見上げて、美しい月を楽しんでみてはいかがでしょうか。

【問合せ】

郷土博物館

☎558-2561

教育随想

目と脳と睡眠

9月23日は「網膜の日」です。公益社団法人日本網膜色素変性症協会によると網膜のさまざまな病気や患者さんへの理解を深めるために制定されたようです。

私事ですが、少し前に加齢による網膜の病気を患い見えにくい状態になりました。視覚から得る情報は全体の約8割だと言われていますが、まさにその通りでした。駅の電光掲示板が読みづらく危うく乗り間違えそうになり、人の顔も判別しづらく友人に挨拶ができないこともありました。目に頼った生活をしていたことが改めてよくわかり、その大切さを痛感しました。幸いなことに現在は目からの情報を脳がうまく調整してくれているようで生活に支障はないほどに回復しました。

さて、その目と脳ですが、ある著名な脳科学者のウェブプログラムによると、視覚から得られる情報量は膨大で、脳で処理しきれない情報の大半がそのまま捨てられているそうです。デジタル化の進んだ社会で膨大な情報を上手く処理するためには脳を処理能力の高い「フロー状態」にする必要があるそうです。目からの情報を遮断し、目を休めると同時に脳を休める、つまり睡眠が大切だとされています。

睡眠は、より多くの情報を目から取り込み余すことなく脳で処理するための準備であり、情報の渦の時代を生き抜くために欠かせないもののなのかもしれません。

公益財団法人日本学校保健会平成30年度・令和元年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書「近視に関する要因の解析」にも睡眠と近視の関連として「非近視群に比べ近視の児童生徒で、各年齢群で平均睡眠時間が短かった。」との記述があります。

勉強や読書、スマホやテレビなど、子どもたちも目から情報をたくさん取り入れています。長く健康な目を保つために、そして情報を効率よく処理するためにも、適切な睡眠で目と脳を休ませることが意識すると良いかもしれません。



教育委員会委員 永井 英義

特定非営利活動法人羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市の文化を推進していくための団体です。

羽村市文化協会

TEL 57912772

■第91回ゆとりぎサロンコンサート サックスライブ 大野真奈さん

【日時】9月11日(日) 正午～午後0時50分

【会場】プリモホールゆとりぎ3階 創作室1(入場無料・直接会場へ)

※前号で土曜日とお知らせしましたが、正しくは日曜日です。

■生涯学習推進事業 サークル紹介・相談、情報交流会

どなたでもお気軽にお越しください。

【日時】9月11日(日) 午後1時30分～午後3時30分

【会場】プリモホールゆとりぎ3階 創作室1(入場無料・直接会場へ)

■第53回羽村市文化祭【10月1日(土)～11月3日(木・祝)】

【会場】プリモホールゆとりぎ(全館)

開会式 10月7日(金)			
展示		特別企画	
10月12日(火)～10月16日(日)	1期:西洋的な表現	10月8日(土)	文化講演会 「羽村で学び、そして伝える生涯学習」 講師:渡部清孝氏(陶芸、日本画等講師)
10月19日(火)～10月23日(日)	2期:東・西洋的な表現		
10月26日(火)～10月30日(日)	3期:東洋的な表現		「羽村で学習した作品展 陶芸と日本画」渡部清孝氏作品展
ホール		10月5日(火)～9日(日)	
10月1日(土)	小中学生音楽フェスティバル	10月29日(土)	ふれあいコンサート 都立羽村高校軽音楽部&ダンス部
10月15日(土)	邦楽	11月3日(木・祝)	合唱指導者によるガラコンサート
10月16日(日)	合唱、芸能他	体験教室	
10月22日(土)	洋楽器	ホール部門	10月22日(土) 詩吟・マジック 10月30日(日) 男声合唱・フォークダンス
10月23日(日)	日舞、芸能他		
10月29日(土)	洋舞	展示部門	10月22日(土)・23日(日) 囲碁 10月28日(金)～30日(日) ニット
10月30日(日)	洋舞、舞踊他		10月29日(土) いけ花

「はむらの教育」を
ご覧になった感想を
お聞かせください

「はむらの教育」の掲載内容の充実を図ることを目的として、ご覧になった感想や意見をメール等でお聞かせください。

【記載事項】

件名「はむらの教育感想」、年齢、性別、住まいの地域、感想内容

(例) 年齢 40代

性別 女性

住まいの地域 羽村市緑ヶ丘

感想・意見 ○○○○○○

【送付方法】

メールまたは郵送

【送付先】

●メール

s700000@city.hamura.tokyo.

●郵送

〒205-8601

羽村市緑ヶ丘5-2-1

羽村市役所 生涯学習総務課 宛

※お寄せいただいた感想は、今後の発行の参考とさせていただきます。

【問合せ】生涯学習総務課総務係

(内線354)

INFORMATION

羽村市役所 (代表) Tel 555-1111

プリモホールゆとりぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
プリモライブラリーはむら(図書館)	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室 ハーモニースクールはむら	Tel 554-1331